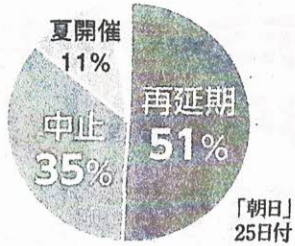


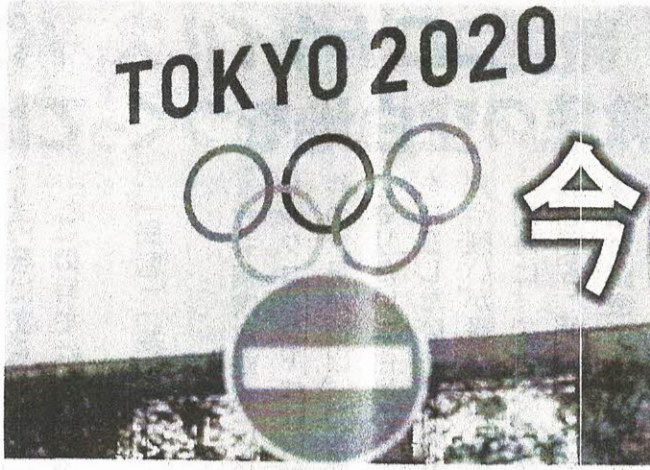
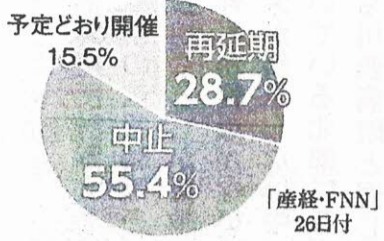
今夏五輪中止しコロナ収束に集中を

東京五輪 世論調査

86%が中止・延期



84%が中止・延期



新型コロナウイルスの収束が見えない中、7月開幕の東京五輪・パラリンピックにたいする不安や懸念、反対の声が高まっています。日本共産党は21日、「今年夏の東京五輪を中止し、コロナ収束に集中すべきだ」と表明しました。(五輪問題取材班)

今は命を優先に

■レスリング世界選手権男子74kg級銀メダリスト・高谷惣亮(たかたに・そうすけ)選手(31)
「大きな反対の中での開催は『平和の祭典』からほど遠い」

■日本オリンピック委員会の山口香理事
「国民を置いてきぼりにした前のめりの姿勢は…政治とか経済とか、別の理由や思惑があるのだろうと冷めた目で見られている」(「朝日」26日付)

いま「五輪」が旬
希望伝える

米富豪 資産114兆円増

シンクタンク調査
【ワシントン】遠藤誠二(ワシントン)米国の億万長者660人が、新型コロナウイルスのパンデミック(世界的流行)のさなかの昨年3月から1月までに、1兆1000億(約114兆円)も資産を増やしたことが分かりました。米国の進歩的シンクタンク「政策研究所」(IPS)が31日までに、調査結果を発表しました。資産10億以上の億万長者の総資産は、昨年3月18日のおよそ3兆円から、今年1月18日には4兆1000

億(約41兆円)に増加しました。この間、億万長者は46人増えて660人となりました。億万長者の保有する富は、米人口の下半分、1億6500万人の総資産2兆4000億の1.7倍になります。米国では新型コロナウイルスの感染者が2500万人、死者は43万人を数えます。昨年3〜12月に7300万人が職を失い、10万の事業所が閉鎖し、1200万人が雇用者負担の医療保険を失うなど、深刻な状態が続いています。一方で、電気自動車メー

「夜の銀座」自公幹部 役職辞任

声を上げる選手ら

■2016年リオデジャネイロ五輪競泳400m個人メドレー金メダリスト・萩野公介選手(26)
「五輪は開催されなくてもいい。人の命が何よりも最優先。それに勝るものはこの世には存在しない」(「朝日」23日付)

■東京五輪の陸上女子1万mの代表に決まった新谷仁美(にいや・ひとみ)選手(32)
「みなさんがやりたくないのなら開催する意味が全くなってしまいます。選手だけが『やりたい』ではただのわがまま」

■夏冬のパラリンピックの金メダリスト・土田和歌子選手(46)
「いまは命を優先するべき。命が約束された世の中であってこそスポーツが成り立つ」

命に勝るものなし ■命約束された世界でこそ成立



インターパーク倉持呼吸器内科 (宇都宮市)

倉持 仁 院長

新型コロナウイルスの感染がこれだけ広がるもとで、東京五輪の開催は現実的に難しいというほかありません。いま医療現場は本当にひっ迫

し、疲弊しています。コロナになっても医師に診てもらえず、入院もできず、自宅で亡くなる人が相次いでいます。それだけではなく、コロナ以外で発熱した患者さんは例年のたった2割しか受診できていない。現実はいつでも医療を受けられるという国民皆保険制度があつてないような状態です。しかし、国は効果的な手が打っていません。そんな危機的なときに五輪ですかと。

東京五輪には1万人の医師など医療従事者が必要といわれます。でも、それだけの人をいっただいどこから連れてくるのでしょうか。

2月末から全国でワクチン接種が始まる中、ここでも多くの医師、看護師が必要で、五輪に医師ら確保するのは至難の業で、無理にやれば必要な医療が圧迫されるだけです。

私には五輪をやりたいという一部の政治的な思惑でことが動いていくとしか思えません。海外の人にはマスクをつけたくないという人もいるし、日本の検疫の体制も甘い。五輪まで時間があつたにもかかわらず、そうしたルールづくりもしてきませんでした。

いま日本にとって何が最優先かといえば、国民の命と健康を守ることです。五輪の意義を否定はしませんが、国民を危険にさらす選択はすべきでないと思います。

3次補正 19兆円中コロナ関係わずか4兆円
緊急事態宣言中



選挙で落とされなければわからない面々
白川ただし

しんぶん赤旗
お申し込みは黒田みちまで
(090-9987-7909)
日本共産党